

HANDBALL

Hiroshima
News 2017.3

■全国高校選抜大会中国予選 成績■

【男子】

▽1回戦

総社34(22-8, 12-7) 15 飯南

岩国29(18-8, 11-12) 20 米子西

▽準々決勝

岩国工21(16-6, 5-12) 18 総社

修道19(7-11, 12-5) 16 境

理大付22(7-6, 15-7) 13 山陽

岩国33(16-13, 17-10) 23 江津

▽準決勝

岩国工32(16-7, 16-2) 9 修道

岩国33(14-12, 19-19) 31 理大付

▽3位決定戦

理大付33(21-7, 12-3) 10 修道

▽決勝

岩国工40(18-18, 13-13)

3-2, 6-1) 34 岩国

【女子】

▽1回戦

江津20(9-10, 11-6) 16 米子西

岩国商24(12-7, 12-2) 9 桜が丘

▽準々決勝

高水41(19-0, 22-2) 2 江津

玉野光南16(9-7, 7-6) 13 山陽

倉敷天城23(12-5, 11-7) 12 松江市女

岩国商34(18-7, 16-4) 11 境

▽準決勝

高水28(15-6, 13-5) 11 玉野光南

岩国商29(15-7, 14-9) 16 倉敷天城

▽3位決定戦

玉野光南20(10-2, 10-6) 8 倉敷天城

▽決勝

高水32(15-10, 17-15) 25 岩国商

■中国高校新人大会決勝トーナメント 成績■

【男子】準決勝

下関中等29(14-6, 15-10) 16 岡山工

倉敷商26(14-11, 12-14) 25 向原

▽決勝

倉敷商32(10-11, 11-10)

7-0, 4-2) 23 下関中等

【女子】準決勝

華陵28(11-2, 17-2) 4 徳山

倉敷商29(14-4, 15-3) 7 岩国

▽決勝

華陵22(13-9, 9-7) 16 倉敷商

第22回中国高校新人大会は2月4、5日に選抜中国予選とともに行われ、男子の向原が3位になった。

県勢は男子が向原と三津田、女子が祇園北と賀茂の県予選3、4位校が出場した。

予選リーグを2試合とも快勝して、ただ1校決勝トーナメント準決勝に進んだ男子の向原は、準決勝で倉敷商と対戦。後半追い上げたが、わずかに1点届かず涙をのんだ。

三津田は予選リーグ1分け1敗。女子の祇園北は1勝1敗とともに2位となり、賀茂は2敗で、いずれも4強で争う決勝トーナメントに進めず姿を消した。

中国高校新人大会

向原は3位

修道 10年ぶりの“春”

境を逆転 4年前の雪辱晴らす

第40回全国高校選抜大会中国予選は2月4、5日にキンビパレッジ周南総合スポーツセンターで開かれ、男子の修道が10年ぶり8度目の全国大会出場を決めた。

今回男子の出場枠は「4」。準々決勝から出場の修道は境に前半4点リ

ドされたが、後半3点差をつけて逆転勝ち。3位決定戦は理大付に敗れ4位。

期待された山陽は、男女とも岡山1位の理大付、玉野光南と当たるくじ運にも恵まれず、ともに初戦で敗退した。女子の桜が丘も初戦突破はならなかった。

修道は初戦で藤代紫水(茨城)と対戦。



「ようやくすっきり」森山監督

10年ぶりの選抜大会出場を決めた修道の森山監督、ようやく胸のつかえがとれたようだ。今回同様に1勝すれば全国のチャンス。相手は同じ境。メンバー7人で臨んだが、ひとり失格で6人。それでも前半9-7でリード。しかし後半も4点リードの場面で最悪のシーンが待っていた。退場者が出た。GKを除きコートプレーヤーは4人。追い上げられ、結局18-19の1点差逆転負けで、全国切符を逃した。

「悔しくて…。なんとしてもリベンジを果たしたかった」。今回はメンバー12人での逆転勝ち。「よかった」との安堵の声に、心底からの喜びがあふれていた。

《修道3位決定戦メンバー》

No	Pos	選手名	学年	得点
1	GK	大吞賢生	①	0
2	CP	西田遼太郎	②	0
3		松島圭吾	②	2
4		行廣怜馬	②	1
5		山田優樹	②	4
6		中野純希	②	0
7		伊藤武人	②	3
8		向根拓也	①	0
9		銅銀志琉	①	0
10		松田駿介	①	0
11		岩本農児	①	0
14		外丸賢伸	①	0

(注) 白抜き数字は主将

■中国高校新人大会 女子予選リーグ結果■

▽A組

松江東13(5-4, 8-1) 5 倉吉総合

徳山19(10-7, 9-5) 12 松江東

徳山20(11-4, 9-10) 14 倉吉総合

*順位 ①徳山2勝②松江東1勝1敗③倉吉総合2敗

▽B組

華陵24(11-5, 13-3) 8 倉敷青陵

華陵38(25-1, 13-7) 8 賀茂

倉敷青陵27(16-4, 11-8) 12 賀茂

*順位 ①華陵2勝②倉敷青陵1勝1敗③賀茂2敗

▽C組

松江南15(5-6, 10-6) 12 米子東

岩国24(15-4, 9-4) 8 松江南

米子東19(11-13, 8-6) 19 岩国

*順位 ①岩国1勝1分②松江南1勝1敗③米子東1分1敗

▽D組

倉敷商34(16-5, 18-10) 15 祇園北

倉敷商42(26-3, 16-1) 4 倉吉東

祇園北29(14-1, 15-6) 7 倉吉東

*順位 ①倉敷商2勝②祇園北1勝1敗③倉吉東2敗

■中国高校新人大会 男子予選リーグ成績■

▽A組

岡山工23(14-8, 9-15) 23 米子北

下松工業権

*順位 ①岡山工1勝1分②米子北1勝1分(1、2位は抽選による)

▽B組

下関中等34(15-7, 19-6) 13 倉吉東

倉吉東15(8-7, 7-8) 15 三津田

下関中等29(15-8, 14-7) 15 三津田

*順位 ①下関中等2勝②三津田1分1敗③倉吉東1分1敗(2、3位は得失点差による)

▽C組

向原33(17-5, 16-13) 18 合同

向原39(20-8, 19-10) 18 松江工

合同39(18-7, 21-11) 18 松江工

*順位 ①向原2勝②合同1勝1敗③松江工2敗

(合同は下関中央工と下関工科)

▽D組

倉敷商40(21-7, 19-6) 13 米子東

倉敷商36(22-8, 14-9) 17 松江高専

米子東26(14-9, 12-12) 21 松江高専

*順位 ①倉敷商2勝②イナゴ東1勝1敗③松江高専2敗

3年ぶりに揃ってPO

日本リーグ

日本リーグは5日でレギュラーシーズンを終えるが、広島勢の湧永製薬とメイプルレッズは3年ぶりそろってプレーオフを決めた。湧永製薬は3年ぶり17度目、メイプルレッズは5年連続15度目の出場。(中止の35回大会を除く)

湧永は厳しい戦いを強いられましたが、2月25日のトヨタ車体戦を制して最後の1枠をつかんだ。車体に勝ったのは13年の第38回くらい4年ぶり。連敗を6で止めた。

メイプルレッズも25日の飛騨高山戦で出場を決めた。オムロンがソニーに敗れたため2位に浮上したが、翌26日の北国戦に敗れ、オムロンが三重に逆転勝ちしたため、3位が確定した。女子の4位争いはソニーと三重が最終戦まで持ち越した。プレーオフは男子が18、19日に駒沢体育館、女子は25、26日にアクアドームくまもとで行われる。

高山両手に花

通算500得点・100試合連続得点



メイプルレッズの高山が2月25日の飛騨高山戦で100試合連続得点、翌日の最終戦、対オムロンで通算500得点を達成した。銀行戦(中区SC)で始まり高山戦で12分過ぎに自己記録を更新した。あと2得点で臨んだオムロン戦は後半4分過ぎ、2点差と迫る15点目。

■日本リーグ男子■(第19週終了現在)

試合	勝	分	敗	勝点
①大同特殊鋼	15	13	1	27
②大崎電気	15	10	2	22
③トヨタ車体	15	11	0	22
④湧永製薬	16	9	3	21
⑤琉球	15	7	1	15
⑥豊田合成	15	6	1	13
⑦トヨタ自	15	4	3	11
⑧トヨタ紡織	16	3	1	7
⑨北陸電力	16	0	0	16

■日本リーグ女子■(第19週終了現在)

試合	勝	分	敗	勝点
①北国銀行	17	17	0	34
②オムロン	17	11	0	22
③メイプル	18	10	1	21
④ソニー	17	8	1	17
⑤三重	17	8	0	16
⑥HC名古屋	17	3	0	14
⑦飛騨高山	17	2	0	15



その後3点を追加、503得点まで記録を伸ばした。

湧永の年男3人「鬼は外」

湧永製薬の「年男トリオ」が2月5日、広島市佐伯区の観音神社の節分祭に駆け付け、「鬼は外、福は内」と特設ステージから豆まきを行った。

中山監督、原、福田の両選手。袴姿の3人は、サンフレッチェの森崎アンバサダーとともに参拝者に向け威勢よく声を張り上げた。

日本リーグの順位争いと並んで注目されるのが、個人タイトルの行方。メイプルレッズの右サイド門谷が初のシュート率賞へ大きく前進している。7割9分4厘で2位を大きく引き離してトップに立っている。「最高に欲しいタイトル」だが、気がかりはフィールド得点ベスト10の壁。現在7位ながら11位とは4点差と目が離せない。

右サイドの門谷がシュート率賞濃厚

小中生にメイプルが指南

中区SCで体験会

中区スポーツセンターで2月11日のHC名古屋戦の試合前メイプル選手による「やってみよう!ハンドボール」体験会が開かれ、小中生らが楽しいひとときを過ごした。

ボールの受け方、投げ方、ドリブルなどに汗を流した。

また、試合では両チームのエスコートキッズも務め、ハンドボールの魅力堪能した。



東区総合福祉センターでは幼児が集う「ぼつぽひがし」で子どもたちと楽しいひとときも過ごした。また、日本リーグの盛り上げに観戦も呼びかけた。今月末までロビエ展はある。

高山が一日東区長
メイプルレッズの高山智恵主将が2月1日、東区役所では初めての一日区長を由止め、市民らとの交流を深めた。一日区長の辞令を受けた後、近くの尾長小で登校する児童にあいさつ、JR広島駅北口ではエキキタのスウィーツスタンドラリーのチラシなどを配り、参加を呼び掛けた。

東区役所サポーターズメイプルに大声援

メイプルレッズを応援している東区役所サポーターズ約80人が2月18日、マイパブリック東区スポーツセンターで大声援を送った。劣勢を強いられたソニー戦だったが、劇的な同点ゴールで引き分けた。



県室内選手権小学生

高学年男女 安芸高田 低学年は呉ジュニア

県室内総合選手権小学生の部は2月19日に広経大石田記念体育館で開かれ高学年男女と低学年混成の3部門を行い、安芸高田HCが高学年男女、呉ジュニアHCが低学年混成で頂点に立った。

高学年の男子は2クラブだけの出場となり、2回戦制で戦い、安芸高田HCが2勝した。3クラブのリーグ戦となった女子は、安芸高田HCがメイプルジュニアと福山ジュニア合同を破って2戦全勝。低学年混成は呉ジュニアHCが初戦で福山ジュニアに大勝後、決勝でも安芸高田HCに危なげない戦いで6点差を行って快勝した。

■県室内総合選手権小学生の部 成績■

【高学年男子】=出場2チーム

▽2回戦制

安芸高田HC8 (5 - 2, 3 - 2) 4呉ジュニアHC

安芸高田HC8 (2 - 4, 6 - 3) 7呉ジュニアHC

*順位 ①安芸高田HC2勝②呉ジュニアHC2敗

【高学年女子】

▽リーグ戦

合 同18 (10 - 0, 8 - 1) 1スナッピーズ

安芸高田HC11 (11 - 0, 0 - 1) 1スナッピーズ

安芸高田HC14 (5 - 3, 9 - 2) 5合 同

*順位 ①安芸高田HC2勝②メイプルレッズジュニア・福山ジュニア合同1勝1敗③スナッピーズ2敗

【低学年混成】

▽1回戦

呉ジュニアHC23 (13 - 0, 10 - 1) 1福山ジュニア

安芸高田HC10 (3 - 3, 7 - 3) 6メイプルジュニア

▽3位決定戦

メイプルジュニア6 (5 - 1, 1 - 0) 1福山ジュニア

▽決勝

呉ジュニアHC13 (5 - 2, 8 - 5) 7安芸高田HC